

## 観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和5年 7月 1日

### 1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 該当するものを で囲むこと	広域連携DMO・ <u>地域連携DMO</u> ・地域DMO	
観光地域づくり法人の名称	三方五湖DMO株式会社	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 福井県三方郡美浜町、福井県三方上中郡若狭町	
所在地	福井県三方郡美浜町 35-16-2	
設立時期	令和2年4月1日	
事業年度	4月1日から3月31日までの1年間	
職員数	21名【常勤19名（正職員17名・出向等2名） 非常勤2名】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） 必ず記入すること	<p>（氏名） 竹長 徹「非専従」</p> <p>（出身組織名） ：三方五湖DMO(株) 代表取締役社長 ：税理士法人 竹長会計 代表社員 ：美浜町商工振興会 理事長</p>	<p>地元の税理士法人の代表社員や地元商工会の理事長を務めるなど、地域のパイプ役として活躍。さらに、観光事業会社の経営経験も有している。</p>
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー） 必ず記入すること	<p>（氏名） 田辺 一彦「専従」</p> <p>（出身組織名） ：三方五湖DMO(株) 常務取締役COO ：(有)湖上館 代表取締役社長 ：(一社)若狭路活性化研究所 代表理事</p>	<p>(一社)若狭路活性化研究所にて、三方五湖の地形を生かした、様々なスポーツイベントの企画・運営を行っている。</p> <p>また、(有)湖上館にて、三方五湖の湖畔に位置する宿の運営やカヤックなどのアクティビティの企画・運営を行っている。</p> <p>これらの経験もあり、三方五湖地域に精通しており、様々なイベント企画・運営のノウハウや人脈を有している。</p>
財務責任者（CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） 必ず記入すること	<p>（氏名） 藤井 忠男「非専従」</p> <p>（出身組織名） ：三方五湖DMO(株) 専務取締役 ：株式会社MSS 取締役 ：美浜町商工振興会 専務理事</p>	<p>事業会社の設立に参画した経験から、幅広い業務に精通しており、財務・経理分野の業務経験もある。また、地元商工会の専務理事を務めるなど、地域のパイプ役としても活躍している。</p>
各部門（例：プロモーション）の責任者（専門人材）		

<p>各部門責任者のうち専従の者については、氏名の右横に「専従」と記入すること</p>		
<p>各部門（例：旅行商品の造成・販売）の責任者（専門人材）</p>		
<p>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</p>	<p>：福井県三方郡美浜町 観光誘客課 観光地域づくりに関する政策連携                  ；福井県三方上中郡若狭町 観光商工課 観光地域づくりに関する政策連携</p>	
<p>連携する事業者名及び役割</p>	<p>：（一社）若狭美浜観光協会 着地型観光企画・情報発信等                  ；（一社）若狭三方五湖観光協会 着地型観光企画・情報発信等                  ；美浜町商工振興会 地域の事業者とのパイプ役等                  ；わかさ東商工会 地域の事業者とのパイプ役等                  ；㈱レインボーライン 共同事業の企画等                  ；㈱福井銀行 ビジネスマッチング等                  ；㈱福井キャピタル&amp;コンサルティング マーケティング、会社運営支援等                  ；㈱福邦銀行 ビジネスマッチング等                  ；敦賀信用金庫 ビジネスマッチング等                  ；(有)オオギ観光タクシー 交通事業者                  ；レインボー観光自動車㈱ 交通事業者                  ；湖上館パムコ 宿泊事業者</p> <p>域内の宿泊事業者は多岐にわたるため、美浜町・若狭町の観光協会を取りまとめ機関として連携を行っている。宿泊事業者との連携が必要な際は観光協会を経由しており、具体的にはR4年度「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」等の推進における地域計画の策定においては、(有)せくみ屋、㈱ティーケーエスと地域計画策定に向けた協議を実施。また湖上館パムコとの提携により三方五湖DMO自身が宿泊事業を営む。</p> <p>；他地域のDMO法人等の観光事業者 ㈱まちづくり小浜 等</p>	
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>【該当する登録要件】</p> <p>（概要）                  当社の取締役には、商工会や、観光協会、観光事業者、宿泊事業者の代表者が就任しており、株主兼相談役として美浜町・若狭町の両行政も参画するなど、幅広い分野の関係団体の代表者が意思決定に関与できる。                  観光資源の関係者、行政、商工会、交通事業者等が参加する執行会議を三方五湖DMO(株)主導で毎月開催しており、意見交換を行いながら地域の合意形成を図っている。                  &lt;執行会議における合意形成の仕組み&gt;                  ；必ず毎月一回、定例の場として直接対面形式で執行会議を開催（議事録保管）                  ；三方五湖DMO取締役側が参加者（上記の連携事業者）に対して直近の事業成績、各種イベント、計画の進捗状況、実績等について報告を行うとともに、各種広報や周知活動についても協力体制を講じている。                  ；執行会議開催前に会議次第を案内し、当日は参加者から自由な発言を求め企画に反映させる方針であり、協議事項においては議論を通じて意思決定を進めている。                  ；三方五湖DMOからの報告後、参加者を交えた意見交換を実施し閉会。                  ；個別の案件については、宿泊事業者等を交えた少人数の会議を執行会議外で都度開催しており、執行会議内でサマリの報告を行っている。</p>	
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>三方五湖DMO(株)主導で毎月開催している執行会議にて、当社の活動報告や意見交換を行い、地域の主要な関係者への意識啓発・参画促進を通じて、地域住民への意識啓発・参画促進を図る。また、当社が定期的に開催しているスポーツイベント等に、プレイヤーやスタッフとして参加してもらうこと、当社が主催するセミナーや体験会への参加を通じて、意識啓発・参画促進に取り組んでいる。                  &lt;スポーツイベント開催実績&gt;                  ビッグイベント：春・秋のシーズンを中心に年4回ほど</p>	

	<p>2022年4月 若狭路レインボーマラソン 参加者 343名                  2022年5月 若狭路センチュリーライド 参加者 1,188名                  2022年6月 若狭路レインボーヒルクライム 参加者 436名                  2022年10月 若狭路トレイルラン 参加者 324名                  2023年4月 若狭路レインボーマラソン 参加者 287名                  2023年5月 若狭路センチュリーライド 参加者 1,252名                  2023年6月 若狭路レインボーヒルクライム 参加者 285名</p> <p>スモールイベント：夏シーズンにオープンウォータースイミングなどの小規模イベントを複数回開催</p> <p>&lt;シンポジウム・セミナー等の地域住民向け啓発事業実績&gt;                  シンポジウム                  2022年2月 私たちの考える幸せのカタチ シンポジウム開催                  電池推進船 地域啓発事業                  2022年12月 電池推進遊覧船を知ろう！セミナー＆試乗会                  計10回の開催(美浜町民対象8回、若狭町民対象2回)</p> <p>地域住民参加型の接客研修                  2023年1-3月 ディズニーランド「笑顔の接客研修」                  ガイドやスタッフの育成については、ディズニーランドより講師を招き、「笑顔の接客研修」と題し、全8回の研修を実施                  本研修は地域住民やDMO関係者にも門戸を開き、域内全体の接客レベル向上となった</p>
--	--

法人のこれまでの活動実績	<b>【活動の概要】</b>	
	<b>事業</b>	<b>実施概要</b>
	情報発信・プロモーション	<p>：2021年度にて自社ホームページを立上げ（今後、既存の情報発信媒体の統合を企画検討している）<a href="https://mikatagoko-dmo.com/home/">https://mikatagoko-dmo.com/home/</a>                  ：情報発信においては、自治体と観光協会と役割分担を行っている。具体的には下記の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 自治体：町（地域）の観光戦略や観光計画などの策定および公表を担当し、大元の指針となる情報を発信している。一方、両町に跨る統合的な地域計画の必要性については認識が共有されており、2023年度7月現在、三方五湖DMO主導で地域包括的な計画を策定している（2023年度内完成・共有予定）。</li> <li>➤ 観光協会：主として民宿やホテル、飲食店、体験施設など個別観光関連事業者の詳細情報を発信している。その他、ガイドや交通アクセス、土産物など観光客目線での情報を発信している。</li> <li>➤ 三方五湖DMO：主として地域おこし、まちづくり情報を発信している。具体的には電池推進船開業や宿泊施設の高付加価値化、スポーツイベントを通じた地域活性化といった情報発信が主であり、観光客のみを対象とした情報発信ではない。地域の観光資源磨き上げに資するものであり、様々な実証実験やセミナー、モニターツアー、シンポジウム等の情報発信が多い。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 各団体が連携して、大型イベントや企画などの情報を発信するために調整を行うことがある。例えば、スポーツイベントの集客は各HPや広報ツールで発信し、可能な限り大人数にアプローチ出来るように工夫する中で、運営事務局は一元化し、各HP等に集約リンクを貼り付けることで効率化を行っている。</li> </ul> </li> <li>➤ 民間事業者：レインボーラインなど地域を代表する観光事業者とは、連携する観光施設やイベントで相互リンクを掲載することでシナジーを狙っている。</li> </ul> <p>上述の執行会議において、様々な関係者との相互リンクを実現する方針を確認。具体的には、美浜町・若狭町といった自治体、両町の観光協会、商工振興会、レインボーラインを始めとする域内有力事業者、金融機関の合意を取り付け、本HPに掲載している。（既に美浜町・若狭町等、数力所との相互リンク実現済み）:</p>

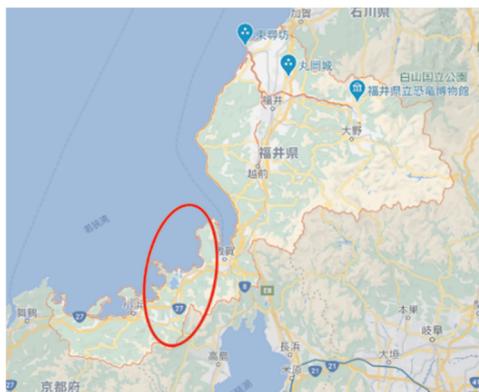
	<p>三方五湖 DMO が運営する HP については、ターゲット別に専用の HP を設け、三方五湖 DMO 本体の HP と相互リンクを貼ることで一元的に管理をしている。</p> <p>：三方五湖 DMO が運営する事業は「宿泊」、「スポーツイベント」、「観光遊覧船」と幅が広く、ターゲットや集客範囲が異なる。2023 年 7 月現在は外部の予約サイトやイベントサイトへの掲載も考慮し、ターゲット別に HP を分けている状態であるが、三方五湖 DMO 本体の HP でも予約機能を追加し、ターゲット別の方針を維持する形でより一元的に管理できるよう計画を進めている。</p> <p>：インバウンド向けの情報発信としては、上述の環境省の自然体験プログラム推進事業の中で「アフターコロナを見据えたインバウンド対応サイクリングツアー構築事業」を 2022 年 9 月より推進してきた。2023 年には情報発信媒体としてインバウンドを想定した英語での予約サイトも開設し、実際のインバウンド予約の実績が出ている。</p> <p>：観光案内所においても、アドベンチャーツーリズムガイドやサイクリングガイドを 2022 年 4 月より作成・配布しており、一律の情報提供ができる体制を構築。</p> <p>：LINE 等の SNS を活用した観光情報の発信、イベント告知・募集については既の実施しており、必要に応じて都度行っている。</p>
受入環境の整備	<p>：2021 年度より宿泊施設の企画及び運営を開始</p> <p>：2021 年度にてワーケーション需要の実証実験や Wi-Fi 設置を実施</p> <p>：2022 年度にてインバウンド対応ツアーの企画を推進しており、同年 10 月、11 月には外国人向けのモニターツアーを実施済み</p> <p>：2023 年 7 月現在、情報発信媒体としてインバウンドを想定した英語での予約サイトも開設し、インバウンド予約の実績が得られた。</p>
観光資源の磨き上げ	<p>：観光電池推進船の企画及び運営。2022 年度に三方五湖を遊覧する観光電池推進船事業を開始（2022 年 9 月に美浜町より指定管理事業者としての採択を受ける）。2022 年度は電池推進船を活かした地域啓発事業を中心に推進し、2023 年度より域内外の顧客向けに本格的な事業展開を行っている。2023 年 10 月には遊覧船 2 隻体制となり、より一層の集客・収益化を図る予定。</p> <p>：2021 年度より着地型観光の企画及び運営を開始。三方五湖エリアの湖や海、山、川などの自然を生かしたスポーツイベントを定期的に開催しており、常設アクティビティ施設の運営も行っている。（例：大型のマラソンイベント、カヤック体験）。スポーツイベント等の開催実績については上記参照。</p> <p>：2022 年度にて小型電動推進船の開発・実証実験を実施（地域の看板商品として補助金事業採択を受ける）しており、開発・製造が完了している。2023 年度より本格的なサービス提供を開始し、上記の観光電池推進船事業との相乗効果を生み出している。</p>
<p><b>【定量的な評価】</b></p> <p>観光資源磨き上げ &lt; 2022 年 4,5,6 月開催の大型イベント &gt;  およそ 2,000 名の参加者を動員。三方五湖 DMO の試算としておよそ 2,200 万円の経済効果を確認。</p> <p>2022 年 4 月 若狭路レインボーマラソン 参加者 343 名  2022 年 5 月 若狭路センチュリーライド 参加者 1,188  2022 年 6 月 若狭路レインボーヒルクライム 参加者 436  イベント合計  参加者 1,967 名  売上高 18,675,481 円  経済効果(三方五湖 DMO 試算) 22,205,953 円  2023 年度にも同様のイベントを開催し、およそ同数の参加者実績となった。</p> <p>観光資源磨き上げ &lt; 2023 年電池推進船事業(レイクセンター開業) &gt;  2022 年 5 月実績  遊覧船乗船料収入...1,206 千円</p>	

	<p>カフェ収入...510 千円                  カフェの利用者が乗船者の 85%となり、商品企画・開発は成功したものと想定。今後、いかにレイクセンターへの来訪者を増やしていくかが課題であることを認識。</p>
<p><b>実施体制</b>                  地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。</p>	<p><b>【実施体制の概要】</b>                  当社執行会議の構成団体として地域の関係者が参加しており、意見交換による合意形成を行っている。</p> <p>&lt;参加者（構成団体）の位置づけ&gt;                  : DMO からの報告事項について改善提案や新規アイデア等の意見を募り、企画の修正を行う。協議事項については執行会議内で議論を行い、参加者全員で意思決定を行う。また構成団体の定常出席者は自治体や各事業者の代表者もしくは役職者であり、必要な協議や周知活動を各組織で実施いただく等、執行会議がハブ的機能を果たしている。                  : 地域をあげたイベントや計画の遂行、人材確保等の課題に当たって、協力体制を講じることに繋がっている。                  : 必ず会議次第は事前に案内しているが、やむを得ない事情で欠席となる場合は、代理出席、後日の資料送付で対応している。</p> <p><b>【実施体制図】</b></p> <pre>                 graph TD                     subgraph "当社体制図"                         A[株主総会] --&gt; B[取締役会]                         B --&gt; C[代表取締役社長]                         C --&gt; D[執行会議]                         D --&gt; E[収益事業]                         D --&gt; F[公益事業]                     end                     subgraph "外部関係者"                         G[観光資源の関係者]                         H[行政]                         I[商工会]                         J[金融機関]                         K[交通事業者]                         L[宿泊事業者 等]                     end                     D &lt;--&gt;  合意形成  G                 </pre>

2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】

福井県 美浜町・若狭町



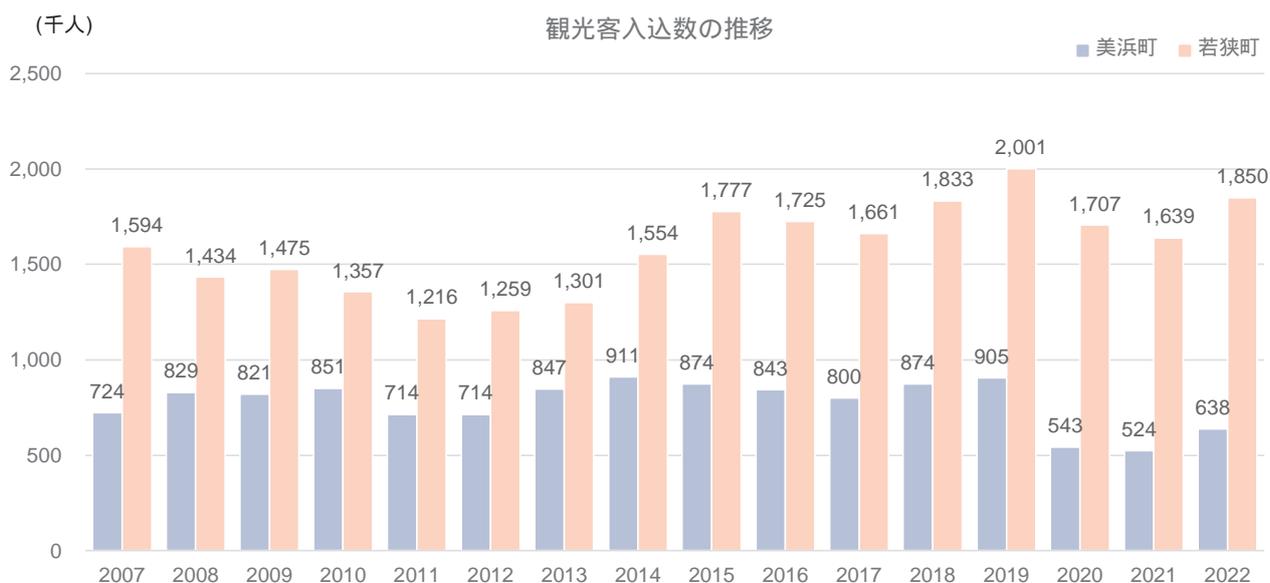
【区域設定の考え方】

三方五湖地域は、福井県の若狭地域に位置しており、湖や海、山、川などの豊かな自然に恵まれた地域である。また、縄文時代の古墳群が存在するなど歴史ある地域である。この地域の観光の中心となる三方五湖は、平成 17 年にラムサール条約湿地に登録されるなど、国内を誇る自然環境に恵まれており、福井県若狭町及び美浜町の両町にまたがる 5 つの湖の総称である。そのため、この三方五湖を中心とした地域を活性化していくためには、当該市町村で連携した区域設定とするのが適切である。

【観光客の実態等】

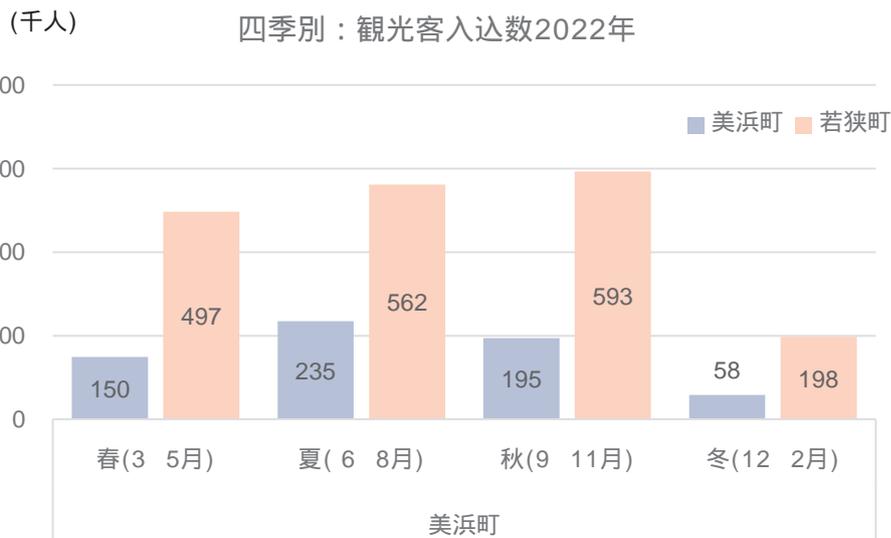
国内屈指の透明度を誇る海水浴場を多く有する美浜町、熊川宿などの観光資源を有する若狭町は、それぞれ行楽シーズンである夏・秋に観光客が多い。美浜町・若狭町への観光入込客数は、平成 23 年から令和元年にかけて緩やかに増加傾向にあったが、令和 2（2020）年の新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、観光客入込数は減少となった。

美浜町および若狭町の観光入込客数（推計）



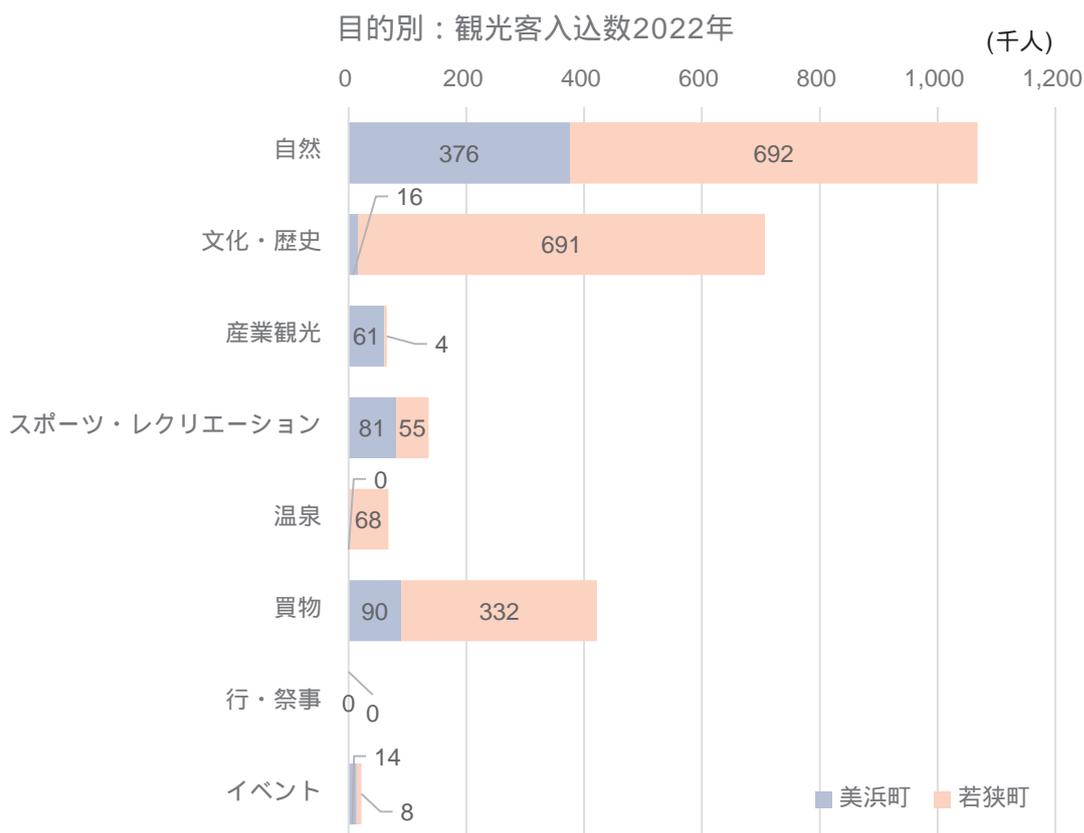
平成 19 年～令和 4 年 福井県観光客入込数より

令和 4（2022）年の観光入込客数（季節別）



令和4年 福井県観光客入込数より

令和4(2022)年の観光入込客数(目的別)



令和4年 福井県観光客入込数より

令和3年度(2021年度)の延べ宿泊者数及び観光消費額

	美浜町	若狭町	両町合計
延べ宿泊者数(千人)	43	77	120
観光消費額(億円)	14.7	45.9	60.6

各自治体が公表する実績値は2021年度が最新。若狭町観光振興ビジョン等をもとに作成。

## 【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

### 観光施設

三方五湖と若狭湾、周囲の山々が一望できる「レインボーライン」、若狭路最大のドライブインである「若狭海遊バザール千鳥苑 若狭美浜海の駅」、三方五湖を巡る電池推進船施設「美浜町レイクセンター」等の自然関連観光施設に加え、「縄文博物館」「年縞博物館」等の文化的観光施設を有する。また、三方五湖エリアの特産品等を販売する道の駅「三方五湖」や「五湖の駅」等の物販施設もある。2023年6月には道の駅「若狭美浜はまびより」がオープン。

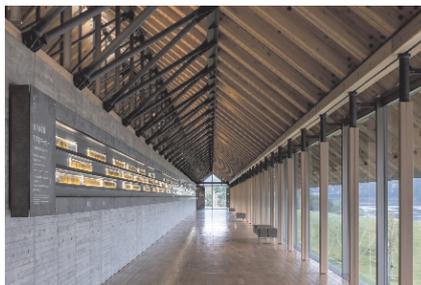
上記施設が有する魅力を最大限に発揮し、ドライブや湖上モビリティ・アクティビティ需要、地産品の購買といった若狭・三方五湖を実感頂ける体験を提供することを超えて、異なる角度での施設活用も十分に考えられる。例えばニッチなテーマを実践する場として施設を捉え、野鳥観察、日本酒飲み比べ、ワイン飲み比べ、フォトジェニック、「不老不死」といった人生観のテーマについて思い巡らせる体験、...等を楽しむフィールドとして活用することも検討している。



### 歴史

三方五湖地域には、縄文時代の古墳群が存在し、「若狭三方縄文博物館」では、縄文文化を発信している。また、平成30年には「福井県年縞博物館」が開館し、水月湖から採取された世界一の長さを誇る年縞( )を見ることができる。施設を纯粹に楽しむことはもちろん、根本的な部分である歴史を中心に、「御食国」で栄えた食の文化、若狭に伝わる数々の「不老不死伝説」を加えることで、新たな魅力を持ったツアーを構築することができるものと思料。また2023年度より本格開業となった電池推進船事業においても、ガイド案内の中で湖を巡りながら当地の歴史に触れられる体験を取り入れ、地域としての魅力を最大限アピールしている。

( )年縞 「長い年月の間に湖沼などに堆積した層が描く特徴的な縞模様の湖底堆積物」のことで、1年に1層形成される。考古学や地質学における年代測定の「世界標準のものさし」として活用されている。



### イベント

三方五湖地域の山などの独自の地形を生かしたスポーツイベントが開催されており、海・山・湖・川を眺めながらのロングライドができる自転車イベント「若狭路センチュリーライド」や若狭湾や三方五湖の変化に富んだ自然を眺めながらトレイルランを行う「若狭路トレイルラン」等のスポーツイベントが開催されており、一定数のファンを獲得している。イベントに参加いただく方々に喜んでいただくことはもちろんのこと、参加者のご家族が現地まで足を運びたいくなる仕掛けを今後は考えて行く必要があると感じている。具体的には地域の魅力が伝わるノベルティの提供、家族や団体で参加できるイベントの企画などを検討している。

(イベント開催・集客実績については上記参照)

### 食事

三方五湖は豊かな漁場として知られており、天然ウナギ、鯉、鮒などが有名。さらに、果樹栽培が盛んであり「福井梅」ブランドも有名である。また、久々子湖畔には「健康楽膳拠点施設こるぼ」があり、地魚や久々子湖産しじみを使った料理を提供するレストランや鯖へしこや干物など直売所施設もある。「海」「湖」「山」が揃う三位一体の地で、お客様が季節の食材(魚・エビ・うなぎ・しらうお・さより・八ぜ・タコ・野草・・・等)を自ら採取し、調理することで、この地を五感

で楽しむ体験商品を造成したいと考えている。また、地域を代表する板前や料理人の食事がどの宿泊施設でも堪能できるよう、泊食分離の構想も随時進めている。さらには体験施設の分離も見据えた、泊食体分離を長期的な構想として目指す。

#### 【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

美浜町、若狭町における宿泊施設は、ホテル・旅館が3件（収容人員合計366人）、民宿・ペンション等の民営宿泊施設が113件（同4,036人）、社会教育施設が2件（同170人）、キャンプ場3件（同750人）となっている。

令和3年 福井県観光客入込数より

#### 【利便性：区域までの交通、域内交通】

大阪・京都から

自動車利用 名神（米原 JC）・北陸自動車道（敦賀 IC） 国道27号線で美浜へ（ ）

鉄道利用 大阪 京都（湖西線） 敦賀（小浜線乗り換え） 美浜へ

金沢方面から

自動車利用 北陸自動車道（敦賀 IC） 国道27号線で美浜へ（ ）

鉄道利用 金沢 福井（北陸線）敦賀（小浜線乗り換え） 美浜へ

名古屋方面から

自動車利用 名神（米原 JC）・北陸自動車道（敦賀 IC） 国道27号線で美浜へ（ ）

鉄道利用 名古屋（特急または新幹線米原で北陸線乗り換え） 美浜へ

所要時間は、北陸自動車道敦賀 IC から約40分、舞鶴若狭自動車道若狭三方 IC から約20分。

#### 【外国人観光客への対応】

福井県は、外国人宿泊者数や消費税免税店数が全国的に少ない状況であり、外国人観光客への対応は強く求められている。そのため、観光施設などの多言語化対応やWi-Fi環境整備などの受け入れ態勢の整備や、外国人モニターツアーの企画・実施などのPR活動を行政とも連携しながら促進していく。三方五湖DMOとしては、自社で運営する宿泊施設においてWi-Fi環境整備、予約サイトの多言語対応を実施し、地域に展開できる体制を整えている。

### 3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	来訪者の消費活動の動向を分析し、消費単価向上に繋げるため。	各自治体が公表する実績値をもとに三方五湖DMOが地域の実績値として取りまとめを実施。合わせて目標値も設定。
延べ宿泊者数	宿泊者数の推移を把握するため。	各自治体が公表する実績値をもとに三方五湖DMOが地域の実績値として取りまとめを実施。合わせて目標値も設定。
来訪者満足度	来訪者の満足（不満足）に繋がっている要因を分析し、戦略立案に繋げるため。	アンケート調査を三方五湖DMOの自主事業として実施。合わせて目標値も設定。
リピーター率	リピーター顧客の動向を把握し、戦略立案に繋げるため。	アンケート調査を三方五湖DMOの自主事業として実施。合わせて目標値も設定。
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	自社で運営するHPについて、PV数を算出して総合的にアクセス数調査を実施。
住民満足度	観光振興に対する地域住民の理解度を測るため。	定期的に各自治体の実施・公表するアンケート調査を引用。

## 4 . 戦略

## ( 1 ) 地域における観光を取り巻く背景

福井県は 2024 年に北陸新幹線の敦賀延伸を控えており、観光客の受け入れ環境の整備が必要な状況であり、三方五湖地域では、平成 30 年の「福井県年稿博物館」の開館や、令和 2 (2020) 年の「レインボーライン山頂公園」のリニューアルなど観光施設の磨き上げが徐々に進められている。また、令和 5 年度 (2023 年度) には、三方五湖を遊覧する観光電池推進船が開業となり、地域の観光資源が充実しつつある状況といえる。このような動きをより一層活性化し、魅力的な地域づくりを実現するためには、地域の様々な関係者が連携して、地域一体となって取り組んでいく必要がある。そのかじ取り役として、当社が令和 2 (2020) 年 4 月に設立された。

## ( 2 ) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<p><b>強み (Strengths)</b></p> <p>【景観】 透明度が高く綺麗な海水浴場として喜ばれている海水浴場がいくつも連なる「若狭湾」、水質・深さの違う 5 色の湖「三方五湖」、そして、それらの全てを見下ろす事ができる 360 度絶景の「梅丈岳」が存在する。</p> <p>【自然環境】 「三方五湖」は「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」であるラムサール条約に認定されている『生物多様性』に富んだ国内を誇る自然環境である。</p> <p>【食材】 地域の恵まれた自然が生み出す新鮮な食材は昔から「御食国」と言われ、奈良や京都の天皇家・貴族家に食材を供給してきた歴史を持つ、日本の食文化のルーツである。</p> <p>【歴史】 三方五湖周辺からは「縄文遺跡」が出没しており、古来から人間が生活を営むには適した環境であった。</p> <p>【産業】 ・我が国において重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域として、「日本農業遺産」にも認定されている。リアス海岸線に数多く存在する漁村には、この土地の文化と人情・新鮮な魚介類を提供する「民宿」が数多く存在する。</p>	<p><b>弱み (Weaknesses)</b></p> <p>【過疎化・人口減少】 三方五湖が立地する「美浜町」及び「若狭町」も少子高齢化が進むと同時に、若者の都会への流出が激しくなっている。</p> <p>【民宿の廃業】 観光客減少と交通網の充実により、若者が観光業 (民宿経営) から他の職に就くケースが多く、観光業者数が減ってきている。</p> <p>【二次交通】 観光施設が点在しており、観光をする際には自動車での移動が基本となり、駅からの各観光施設などの周遊の方法が課題となっている。</p>
外部環境	<p><b>機会 (Opportunity)</b></p> <p>【交通インフラの整備】 ・平成 26 年「舞鶴若狭自動車道」開通 ・令和 6 年「北陸新幹線敦賀延伸」予定</p> <p>【地方回帰の機運】 新型コロナウイルス感染症の拡大により、人々の人生観に変化が生まれてきており、地方で過ごす時間に価値を見出す動きがある。</p> <p>【ライフスタイル】</p>	<p><b>脅威 (Threat)</b></p> <p>【新型コロナウイルス】 新型コロナウイルス感染症の拡大による観光需要の減少</p> <p>【交通網の充実】 交通網の充実による、日帰り客の増加。</p> <p>【立地】 都市圏から距離的に離れていることから、都市圏近隣の観光地と比べ、相対的に不利。</p>

	世界的な激しい気候変動により、「環境問題」「エネルギー問題」が今まで以上にクローズアップされてきている。	
--	--	--

上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

### （３）ターゲット

<p>第1ターゲット層 都市圏在住の自然志向・環境意識の高い顧客層</p>
<p>選定の理由 ：三方五湖地域には恵まれた自然「湖」「海」「山」「川」があり、これらすべてを一つの地域で楽しむことができることがターゲット層にとって大きな魅力となるため。 ：三方五湖地域は、関西圏(京都・大阪・兵庫)からのアクセスがよく、北陸新幹線敦賀延伸の際には、首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)からのアクセスもよくなるため。 &lt; 選定の定量的根拠 &gt; ：福井県の「2021年観光入込客数」において、美浜町・若狭町の目的別調査を確認すると大多数が「自然」目的での観光を希望されているため、「自然」＝「一番の魅力であり一番の観光資源」として選定している。</p> <p>取組方針 ：恵まれた自然を生かした、スポーツイベントやアクティビティの企画・運営 ：再生可能エネルギーを活用した観光電池推進船の企画・運営</p>
<p>第2ターゲット層 ヨーロッパを中心とした外国人観光客</p>
<p>選定の理由 ：日本の人口が減少し、日本人の観光消費額の減少が見込まれる中で、外国人観光客の集客は地域活性化のために必要であるため。 ：特にヨーロッパは、自然志向・環境意識の高い人、そしてアクティビティ・アウトドアスポーツを楽しむ人が多い地域であるため。 &lt; 選定の定量的根拠 &gt; ：観光庁「訪日外国人の消費動向(2019)」より、訪日前に期待していたことで「自然・景勝地観光」47.0%と第3位であった点、および「Sustainable Development Report」内における「SDG INDEX (SDGs 達成度ランキング)」において上位20か国のほぼ全てがヨーロッパ圏の国であったことから選定している。</p> <p>取組方針 恵まれた自然を生かした、スポーツイベントやアクティビティの企画・運営</p>

## (4) 観光地域づくりのコンセプト

コンセプト	美しい自然に囲まれ、「歴史」と「未来」を感じる三方五湖
コンセプトの考え方	<p><u>美しい自然</u> 三方五湖地域には、5つのそれぞれ異なる特徴をもつ「湖」や、長い年月をかけて作り出されたりアス式海岸の美しい「海」、若狭湾と湖を一望できる「山」、清らかな流れで癒しを感じられる「川」といった豊かで美しい自然が存在し、これらの自然を同時に味わうことができることはこの地域の大きな強みである。</p> <p><u>歴史</u> 三方五湖地域特有の豊かで美しい自然を背景に刻まれてきた、「縄文文化」や「年縞」、「舟屋文化」、「食文化」などの歴史・文化が存在する。</p> <p><u>未来</u> SDG's など持続可能性が求められる現代の社会において、再生可能エネルギーを活用した観光電池推進船体験や、自然を生かしたスポーツイベント、アクティビティ体験など、自然環境に優しく観光を楽しむことができる三方五湖地域は「未来」のひとつの在り方といえる。</p>

## 5 . 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
<p>戦略の多様な関係者との共有 頻度が分かるよう記入すること。</p>	<p>毎月1回、三方五湖 DMO(株)が主導で行う執行会議は、地域の観光事業者や交通事業者、商工会、行政、金融機関等が構成団体となっており、多様な関係者と戦略を共有している。</p> <p>&lt; 執行会議参加者一覧 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>: 美浜町 観光誘客課</li> <li>: 若狭町 観光商工課</li> <li>: (一社)若狭美浜観光協会...個別宿泊事業者の代表としての参加</li> <li>: (一社)若狭三方五湖観光協会...個別宿泊事業者の代表としての参加</li> <li>: (株)レインボーライン 共同事業の企画等</li> <li>: (有)湖上館パムコ</li> <li>: (株)福井キャピタル&amp;コンサルティング</li> <li>: (株)福邦銀行 ビジネスマッチング等</li> <li>: 敦賀信用金庫 ビジネスマッチング等</li> <li>: (有)オオギ観光タクシー 交通事業者</li> <li>: レインボー観光自動車(株) 交通事業者</li> <li>: 関西電力(株)</li> <li>: その他オブザーバー</li> </ul> <p>&lt; 開催実績：サマリー &gt;</p> <p>2021 年度：各月 1 回、計 12 回開催、各回 15 名ほどの参加 2022 年度：各月 1 回、計 12 回開催、各回 15 名ほどの参加</p> <p>&lt; 開催実績：直近の 12 回分 &gt;</p> <p>2022 年度： 07/05(15 名参加)、 08/02(16 名参加)、 09/06(11 名参加)、 10/04(14 名参加)、 11/01(17 名参加)、 12/06(17 名参加)、 01/10(17 名参加)、 02/07(16 名参加)、 03/07(15 名参加)</p> <p>2023 年度： 04/04(14 名参加) 05/02(12 名参加)、 06/06(16 名参加) 各回 1 時間 30 分程度</p>
<p>観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築</p>	<p>: 観光客やイベント参加者に対して三方五湖 DMO(株)がアンケート調査を実施（2022 年度よりトライアルを開始）しており、アンケートから得られた意見をサービス改善に役立てている。</p> <p>: 2023 年度より開業した美浜町レイクセンターでは、月次の乗船客やカフェ利用客の動向をデータで示し、改善等について執行会議で議論が始まっている。</p> <p>&lt; アンケート活用事例 &gt;</p> <p>: アンケートは 2022 年度よりトライアルで開始したため、実際の改善は 2023 年度のイベントからとなった。ここではマラソン等のビッグイベントを例示する。</p> <p>: 域外からの参加者については、関西圏の参加が多いことがアンケートからも明確となった。そのため、アクセスなど交通事業者と連携したサービス改善を宿泊事業者と連携し、関西圏のイベントとの競合状況調査や旅行者向けプラン等の検討に役立てた。</p> <p>: 参加者からは改善点等の意見も募っている。コースに対する不満、トイレやコンビニなど周辺設備面への不満、運営方法やスタッフへの不満など多岐に渡っており、イベントでの改善を検討している。大会スタッフへのアンケートも同時に実施しており、運営者目線での反省やヒヤリハットも改善に生かしている。</p> <p>: 悪かった点のみでなく、良かった点として多く挙げられた「景色」「スタッフの教育」などは今後も魅力の一つとして全面に発信していくことを確認している。</p> <p>: 三方五湖 DMO(株)による観光人材の採用・育成 や、観光事業者との連携により、サービスの維持・向上を図っている。2023 年度の電池推進船事業開業に向け、2022 年度より採用活動を実施してきたが、採用基準は具体的には美浜町・若狭町由来かつ三方五湖 DMO のビジョンに共感する人材を前提としてきた。また運転手やガイドの雇用を進める中で育成も課題であった。運転手の育成については、地元造船所に指導を委託し、モニターツアーや試運転を経て、実際の開業を迎えている。またガイドやスタッフの育成については、ディズニーランドより講師を招き、「笑顔の接客研修」と題し、2023 年 1-3 月の間で全 8 回の研修を実施した。本研修は地域住民や DMO 関係者にも門戸を開き、域内全体の接客レベル向上に資するものである。</p>

<p>観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション</p>	<p>：ホームページやSNS等を活用して、三方五湖地域や周辺地域の観光情報を一元的に発信している。</p> <p>：情報発信においては、自治体と観光協会や観光事業者とHP等の相互リンク構築の上、役割分担を行っている。具体的には下記の通り。</p> <p>&lt;自治体&gt;</p> <p>：町（地域）の観光戦略や観光計画などの策定および公表を担当し、大元の指針となる情報を発信している。一方、両町に跨る統合的な地域計画の必要性については認識が共有されており、2023年7月現在、三方五湖DMOが策定を進めている（両町合意のもと）</p> <p>&lt;観光協会&gt;</p> <p>：主として民宿やホテル、飲食店、体験施設、イベント情報など個別観光関連事業者の詳細情報を発信している。その他、ガイドや交通アクセス、土産物など観光客目線での情報を発信している。</p> <p>&lt;三方五湖DMO&gt;</p> <p>：主として地域おこし、まちづくり情報を発信している。具体的には電池推進船開業や宿泊施設の高付加価値化、スポーツイベントを通じた地域活性化といった情報発信が主であり、観光客のみを対象とした情報発信ではない。地域の観光資源磨き上げに資するものであり、様々な実証実験やセミナー、モニターツアー、シンポジウム等の情報発信が多い。</p> <p>：各団体が連携して、大型イベントや企画などの情報を発信するために調整を行うことがある。例えば、スポーツイベントの集客は各HPや広報ツールで発信し、可能な限り大人数にアプローチ出来るように工夫する中で、運営事務局は一元化し、各HP等に集約リンクを貼り付けることで効率化を行っている。</p> <p>&lt;民間事業者&gt;</p> <p>：レインボーラインなど地域を代表する観光事業者とは、連携する観光施設やイベントで相互リンクを掲載することでシナジーを狙う。</p> <p>：今後、地域のイベントやアクティビティの情報や宿泊状況を統合的に発信し、ワンストップ申込等まで行えるようなホームページの構築を企画検討している。美浜町・若狭町の2つの自治体を跨ぐ点について、ハードルがあるため調整に時間を要する。</p>
--	---

各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

## 6 . K P I (実績・目標)

戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

### (1) 必須KPI

指標項目		2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度
旅行消費額 (億円)	目標	- (-)	74.2 (-)	84.2 (-)	94.4 (-)	106.8 (-)	114.3 (-)
	実績	55.6 (-)	60.6 (-)	67.6 (-)			
延べ宿泊者数 (千人)	目標	- (-)	143 (-)	184 (-)	192 (-)	206 (-)	214 (-)
	実績	119 (-)	120 (-)	147 (-)			
来訪者満足度 (%)	目標	- (-)	- (-)	70.0 (-)	75.0 (-)	80.0 (-)	82.5 (-)
	実績	- (-)	67.6 (-)	59.5 (-)			
リピーター率 (%)	目標	- (-)	- (-)	60.0 (-)	62.5 (-)	65.0 (-)	65.0 (-)
	実績	- (-)	57.8 (-)	64.8 (-)			

括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

### 目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

#### 【検討の経緯】

：当社は、令和2(2020)年4月に設立。データに関しては行政や地域の事業者とも連携しながら収集していく。目標については、美浜町・若狭町の2地域に跨る地域であり、両町の公表するデータをもとに三方五湖DMO(株)が取りまとめ、関係者に諮ることで検討している。

：必須KPIの目標数値は、関係者との協議を経て、令和4(2022)年9月に設定。令和5(2023)年7月現在、自治体公表の実績値が更新され、2021年度実績が明らかになったことから、2022年度以降の目標については修正・協議を行っている。

#### 【設定にあたっての考え方】

##### 旅行消費額

- ：行政や地域の事業者と、データ収集のための連携体制を構築していく。
- ：地域の主要な観光施設等の旅行消費額データを収集・集計し、KPIを設定。
- ：旅行消費額の増加は地域への経済効果の拡大と考え、KPI達成に向けて、収集・分析・改善を行っていく。
- ：目標設定にあたっては、下記の自治体計画と整合性を取るため、両町の目標値を参照して策定している。増加率は線形とし、現実的に目標達成できているか確認可能な設計としている。

<実績や目標設定の参考データ出所>

- ：若狭町「第3次若狭町観光振興ビジョン」
- ：美浜町「美浜町観光振興計画 2022年3月」
- ：福井県「観光客入込数」

##### 延べ宿泊者数

- ：行政や地域の事業者と、データ収集のための連携体制を構築していく。

：地域の主要な宿泊施設事業者の宿泊者数データを収集・集計し、KPI を設定していく方針。  
 ：延べ宿泊者数の増加は、地域の旅行消費額の増加などにつながると考え、KPI 達成に向けて、収集・分析・改善を行っていく。  
 ：目標設定にあたっては、下記の自治体計画と整合性を取るため、両町の目標値を参照して策定している。増加率は線形とし、現実的に目標達成できているか確認可能な設計としている。

<実績や目標設定の参考データ出所>  
 ：若狭町「第3次若狭町観光振興ビジョン」  
 ：美浜町「美浜町観光振興計画 2022年3月」  
 ：福井県「観光客入込数」

**来訪者満足度**

：行政や地域の事業者と、データ収集のための連携体制を構築していく。  
 ：観光客やイベント参加者向けに三方五湖 DMO 主催のアンケートを実施している。アンケート結果を収集・集計し、KPI を設定。アンケート結果による KPI の設定は PDCA の中で柔軟に変更していく。  
 ：来訪者満足度の増加は、リピーターや新規顧客の増加につながると考え、KPI 達成に向けて、収集・分析・改善を行っていく。  
 ：2021 年度・2022 年度のアンケート実績をもとに伸び率設定。2024 年度以降の「満足・とても満足」の割合目標を 80%に設定し、段階的に満足度を高めていくように目標伸び率を設定。

**リピーター率**

：行政や地域の事業者と、データ収集のための連携体制を構築していく。  
 ：観光客やイベント参加者向けに三方五湖 DMO 主催のアンケートを実施する。アンケート結果を収集・集計し、KPI を設定。アンケート結果による KPI の設定は PDCA の中で柔軟に変更していく。  
 ：リピーター率の増加は、観光客数の増加と旅行消費額の増加につながると考え、KPI 達成に向けて、収集・分析・改善を行っていく。  
 ：2021 年度・2022 年度のアンケート実績をもとに伸び率を設定。リピート率は大事な要素と判断しているが、新規観光客獲得も重要であるため、2024 年度の 65%を目安としてバランスよく集客していく。各年度の目標値は段階的にリピート率を高めていくように目標伸び率を設定。

**( 2 ) その他の目標**

指標項目		2020 ( R 2 ) 年度	2021 ( R 3 ) 年度	2022 ( R 4 ) 年度	2023 ( R 5 ) 年度	2024 ( R 6 ) 年度	2025 ( R 7 ) 年度
住民満足度 ( % )	目標	住民満足度は行政が住民に対して不定期でアンケート調査を実施し、集計作業を行っており、今後も美浜町・若狭町が住民満足度調査を行っていく。直近のアンケート結果については別添参照。					
	実績						
Web サイトの アクセス状況 ( 回 )	目標	- ( - )	- ( - )	80,000 ( - )	200,000 ( - )	250,000 ( - )	300,000 ( - )
	実績	- ( - )	71,104 ( - )	159,205 ( - )			

括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値  
 各指標項目の単位を記入すること。

## 指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

### 【検討の経緯】

：当社は、令和 2（2020）年 4 月に設立。令和 3（2021）年に自社ホームページを立ち上げており、データに関しては同HPおよび関連するイベントや宿泊サイト、遊覧船予約サイト等のアクセス状況により分析・収集を行う。また、行政や地域の事業者とも連携していく。

### 【設定にあたっての考え方】

WEB サイトのアクセス状況

：観光客にとって来訪前及び来訪中の情報源である WEB サイトへのアクセス数は、今後注力していきたい指標。自社ホームページを起点に、観光情報やイベント情報などを発信していく。

## 7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

少なくとも今後3年間について、計画年度毎に(1)収入、(2)支出を記入すること。  
現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

### (1) 収入

年(年度)	総収入(千円)	内訳(具体的に記入すること)
2020(R2) 年度	19,365(千円)	三方五湖ゾーン活性化事業(美浜町_補助金) : 11,000(千円) 国立国定公園誘客事業(国_委託事業) : 5,855(千円) 実証実験事業業務委託(福井県_委託事業) : 1,839(千円) その他 : 671(千円)
2021(R3) 年度	88,047(千円)	宿泊施設事業 : 29,119(千円) スポーツトリップ事業 : 580(千円) アクティビティー事業 : 21,051(千円) 総合コーディネート事業ほか(補助金等) : 37,297(千円) <補助金等内訳> 令和2年度(補正予算)国立公園・温泉地等での滞在型ツアー推進事業(環境省_補助金): 5,807(千円) 令和2年度(補正予算)国立公園・温泉地等でのワーケーション推進事業(環境省_補助金): 2,216(千円) ○「新たな旅のスタイル」促進事業モデル事業(観光庁_補助金): 2,566(千円) ○令和3年度観光地域づくり推進事業補助金(福井県観光連盟_補助金): 1,078(千円) ○令和3年度三方五湖サイクルツーリズム推進事業(福井県嶺南振興局_委託事業): 9,819(千円) ○令和3年度三方五湖地域におけるエコツーリズム推進に係る自然調査業務(福井県自然保護課_補助金): 650(千円) ○三方五湖ゾーン活性化事業(美浜町_補助金): 11,000(千円) ○雇用調整助成金など: 4,162(千円)
2022(R4) 年度	146,907(千円)	宿泊施設事業 : 38,447(千円) スポーツトリップ事業 : 19,340(千円) アクティビティー事業 : 16,980(千円) こるば事業(指定管理料除く) : 18,530(千円) :こるば指定管理料 : 12,500(千円) 美浜町レイクセンター業務委託料 : 10,940(千円) 総合コーディネート事業ほか(補助金等) : 30,170(千円) <補助金等内訳> ○三方五湖ゾーン活性化事業(美浜町_補助金): 11,000(千円) 看板商品創出事業補助金(観光庁): 8,070(千円) 自然体験プログラム推進事業【インパウンド対応サイクリングツアー】(環境省): 4,000(千円) ○その他(こるば観光庁助成事業等): 7,100(千円)
2023(R5) 年度	203,448(千円)  140,577(千円) 美浜町レイクセンター事業除く	宿泊施設事業 : 46,193(千円) スポーツトリップ事業 : 29,658(千円) アクティビティー事業 : 19,254(千円) 総合コーディネート事業ほか(補助金等) : 6,300(千円) こるば事業(指定管理料除く) : 26,672(千円) :こるば指定管理料 : 12,500(千円)  美浜町レイクセンター事業 : 37,871(千円) 美浜町補助(レイクセンター指定管理料等) : 25,000(千円)
2024(R6) 年度	223,115(千円)	宿泊施設事業 : 48,503(千円) スポーツトリップ事業 : 32,624(千円) アクティビティー事業 : 20,217(千円) 総合コーディネート事業ほか(補助金等) : 12,600(千円)

	154,449 (千円) 美浜町レイクセンター事業除く	こるば事業(指定管理料除く) : 28,006 (千円) : こるば指定管理料 : 12,500 (千円) 美浜町レイクセンター事業 : 58,666 (千円) 美浜町補助(レイクセンター指定管理料等) : 10,000 (千円)
2025 ( R 7 ) 年度	239,847 (千円) 168,847 (千円) 美浜町レイクセンター事業除く	宿泊施設事業 : 50,928 (千円) スポーツトリップ事業 : 35,886 (千円) アクティビティ事業 : 21,228 (千円) 総合コーディネート事業ほか(補助金等) : 18,900 (千円) こるば事業(指定管理料除く) : 29,406 (千円) : こるば指定管理料 : 12,500 (千円) 美浜町レイクセンター事業 : 66,000 (千円) 美浜町補助(レイクセンター指定管理料等) : 5,000 (千円)

## ( 2 ) 支出

年(年度)	総支出	内訳(具体的に記入すること)
2020 ( R 2 ) 年度	19,128 (千円)	販売費及び一般管理費 : 19,128 (千円)
2021 ( R 3 ) 年度	82,121 (千円)	原価(宿泊施設、スポーツイベント、アクティビティ、教育旅行、受託事業など) : 8,167 (千円) 販売費及び一般管理費 : 73,954 (千円)
2022 ( R 4 ) 年度	146,786 (千円)	原価(宿泊施設、スポーツイベント、アクティビティ、教育旅行、受託事業など) : 24,251 (千円) 販売費及び一般管理費 : 115,330 (千円) 補助金対応費用 : 7,205 (千円)
2023 ( R 5 ) 年度	200,933 (千円) 138,585 (千円) 美浜町レイクセンター事業除く	美浜町レイクセンター事業除く(宿泊施設、スポーツイベント、アクティビティ、教育旅行、こるば指定管理など) 原価 : 37,004 (千円) 販売費及び一般管理費 : 101,581 (千円) 美浜町レイクセンター事業 原価 : 2,525 (千円) 販売費及び一般管理費 : 59,823 (千円)
2024 ( R 6 ) 年度	220,630 (千円) 149,988 (千円) 美浜町レイクセンター事業除く	美浜町レイクセンター事業除く(宿泊施設、スポーツイベント、アクティビティ、教育旅行、こるば指定管理など) 原価 : 39,769 (千円) 販売費及び一般管理費 : 110,219 (千円) 美浜町レイクセンター事業 原価 : 3,911 (千円) 販売費及び一般管理費 : 66,731 (千円)
2025 ( R 7 ) 年度	235,096 (千円) 162,453 (千円) 美浜町レイクセンター事業除く	美浜町レイクセンター事業除く(宿泊施設、スポーツイベント、アクティビティ、教育旅行、こるば指定管理など) 原価 : 42,763 (千円) 販売費及び一般管理費 : 119,690 (千円) 美浜町レイクセンター事業 原価 : 4,400 (千円) 販売費及び一般管理費 : 68,243 (千円)

### (3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

収益事業と公益事業を両輪とした事業を行い、自律的・継続的な会社運営を行っていく方針。

#### 収益事業

- ：観光電池推進船事業
- ：宿泊事業
- ：スポーツイベント事業
- ：アクティビティ事業

#### 公益事業

- ・三方五湖地域の資源を生かした事業の企画・運営を行うことによる委託料の収入
- ・観光情報などの一元的な情報発信の受託

#### 自治体との協議

：美浜町レイクセンター（電池推進船）の指定管理事業は、入札審査を経て採択されたものである。観光客からの乗船料やカフェ等の飲食利用料は運営資金確保の一環として収益事業の位置づけとなっている。しかしながら 2023 年度は上記計画の通り、レイクセンター開業前後の需要予測のギャップ、船舶調達の遅れ等に起因した収入源が見込まれているため、安定的な運営が継続できるよう必要な資金手当てや活動費の捻出、指定管理契約の在り方について美浜町と精査・協議を進めている。

：三方五湖地域のエリア全体計画（地域計画）や観光協会との役割分担（棲み分けや組織改革）等、地域課題解決に資する公益性の高い事柄については、公益事業としてどのような体制で受託すべきか（もしくは補助事業とすべきか）を美浜町・若狭町の各自治体と協議している。

## 8 . 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

三方五湖DMO株式会社は、三方五湖地域の様々な関係者との連携を図りながら、観光地域づくりを推進していく役割を担うために、設立された法人である。

：福井県美浜町は、三方五湖地域の観光地域づくりを推進するために、三方五湖DMO株式会社との政策連携を行っていく。三方五湖DMO株式会社を当該都道府県及び市町村における「地域連携DMO」として登録したいので三方五湖DMO株式会社とともに申請する。

：福井県若狭町は、三方五湖地域の観光地域づくりを推進するために、三方五湖DMO株式会社との政策連携を図っていく。三方五湖DMO株式会社を当該都道府県及び市町村における「地域連携DMO」として登録したいので三方五湖DMO株式会社とともに申請する。

## 9 . マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO（県単位以外）や地域DMOと重複する場合の役割分担について（重複しない場合は記載不要）

重複はない

## 10 . 記入担当者連絡先

担当者氏名	田辺 一彦
担当部署名（役職）	常務取締役COO
郵便番号	〒919-1122
所在地	福井県三方郡美浜町松原 35-16-2
電話番号（直通）	0770-47-5344
F A X 番号	0770-47-6588
E - m a i l	k.tanabe@mikatagoko-dmo.com

## 1 1 . 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	福井県三方郡美浜町
担当者氏名	渡辺 強
担当部署名（役職）	観光誘客課 課長
郵便番号	〒919-1141
所在地	福井県三方郡美浜町郷市 11-8-7
電話番号（直通）	0770-32-6705
F A X 番号	0770-32-6740
E - m a i l	watanabe.103@town.fukui-mihama.lg.jp

都道府県・市町村名	福井県三方上中郡若狭町
担当者氏名	西村 学
担当部署名（役職）	観光商工課 課長補佐
郵便番号	〒919-1393
所在地	福井県三方上中郡若狭町中央 1-1
電話番号（直通）	0770-45-9111
F A X 番号	0770-45-1115
E - m a i l	nishimura-ma@town.fukui-wakasa.lg.jp

記入日: 令和5年 7月 1日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

福井県三方郡美浜町、三方上中郡若狭町

【設立時期】 令和2年4月1日

【設立経緯】

区域に観光協会があるが、役割分担等をした上でDMO新設

【代表者】 代表取締役社長 竹長 徹

【マーケティング責任者(CMO)】 常務取締役 田辺 一彦

【財務責任者(CFO)】 専務取締役 藤井 忠男

【職員数】 21人(常勤19人(正職員17人・出向等2人)、非常勤2人)

【主な収入】

収益事業 93百万円、補助金・委託事業 53百万円(R4年度決算)

【総支出】

事業費(原価) 24百万円、一般管理費 123百万円(R4年度決算)

【連携する主な事業者】

美浜町、若狭町、(一社)若狭美浜観光協会、(一社)若狭三方五湖観光協会、美浜町商工振興会、わかさ東商工会、(株)レインボーライン、敦賀信用金庫、(株)福邦銀行、(株)福井銀行、(株)福井キャピタル&コンサルティング、(有)オオギ観光タクシー、レインボー観光自動車(株)、関西電力(株)、その他(宿泊事業者、他地域のDMO法人等の観光事業者)

KPI(実績・目標)

( )内は外国人に関するもの。

項目		2020 (R2)年	2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年
旅行消費額 (億円)	目標	- (-)	74.2 (-)	84.2 (-)	94.4 (-)	106.8 (-)	114.3 (-)
	実績	55.6 (-)	60.6 (-)	67.6 (-)			
延べ 宿泊者数 (千人)	目標	- (-)	143 (-)	184 (-)	192 (-)	206 (-)	214 (-)
	実績	119 (-)	120 (-)	147 (-)			
来訪者 満足度 (%)	目標	- (-)	- (-)	70.0 (-)	75.0 (-)	80.0 (-)	82.5 (-)
	実績	- (-)	67.6 (-)	59.5 (-)			
リピーター率 (%)	目標	- (-)	- (-)	60.0 (-)	62.5 (-)	65.0 (-)	65.0 (-)
	実績	- (-)	57.8 (-)	64.8 (-)			

戦略

【主なターゲット】

都市圏在住の自然志向・環境意識の高い顧客層  
ヨーロッパを中心とした外国人観光客

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

: 恵まれた自然を生かした、スポーツイベントやアクティビティの企画・運営  
: 再生可能エネルギーを活用した観光電池推進船の企画・運営

【観光地域づくりのコンセプト】

美しい自然に囲まれ「歴史」と「未来」を感じる三方五湖

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】

: 観光電池推進船、小型電動推進船の企画開発及び運営  
: 着地型観光の企画及び運営(アクティビティやスポーツイベント)

【受入環境整備】

: 宿泊施設にてワーケーション需要対応やWi-Fi設置を実施  
: インバウンドを想定したツアー企画や予約サイト開設(実績あり)

【情報発信・プロモーション】

: 2021年度にて自社ホームページを立上げ  
: 情報発信は、自治体と観光協会と相互リンクの上、役割分担

【地域住民向け活動】

: 電池推進船運営開始に伴い、地域住民参加型の試乗会&セミナーを企画、運営  
: ガイド・接客研修の公開

